



基本施策 1 林業の振興

■めざすまちの姿

「災害に強い森林づくり」を視野に入れ、林業の担い手が確保・育成されるとともに、生産性の高い森林造成の整備が進み、木材の安定供給体制が構築された持続可能な循環型林業を推し進めることで「儲かる林業」が実現するまちをめざします。

■現状

- ◇各種補助制度により、新規林業事業者の初期投資に必要な雇用や高性能林業機械の購入・リースにかかる経費軽減、既存事業者でも雇用経費が軽減され、新規林業事業者の増加や市内林業事業者の存続につながっています。
- ◇平成 29（2017）年 4 月に森林大学校が開校し、毎年 20 人近くが入学しており、大学校と地域の代表、市役所などで構成する育成協議会が学生生活のサポートを行っています。
- ◇木材流通において、用材については大きな供給源となっており、木質バイオマス発電の燃料となる林地残材や未利用材についても、森林資源を生かしたエネルギー源として、県内の木質バイオマス発電事業者の大きな供給源となっています。
- ◆伐期を迎えた放置森林など未整備森林の増加に伴い、**森林環境譲与税**を活用し持続可能な開発目標（SDGs）に掲げる温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等に早急に取り組まなければならない状況となっています。

■課題

- ◇木材価格の低迷や、所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加などの影響により、間伐施業が滞ることが想定される中、早急なる森林整備面積拡大を図るため、森林経営計画を策定できない条件不利地などの森林では**森林環境譲与税**を活用した方策が必要です。
- ◇木材流通量が増えている中、流通のほとんどが市外（市場の約 85%）となっており、市内での流通量を増やすためには、外材との価格差や設備投資、後継者不足等の解決が必要です。
- ◇宍粟材の普及について、宍粟材の特性を生かした活用方法等の検討が必要です。
- ◇宍粟材だけでなく、県産木材の需要拡大に向けて県や近隣市町等と連携した取組が必要です。

■個別施策の方向性と主な取組（★は総合戦略事業に関連する取組）

① 宍粟材流通の拡大促進（★）
<p>《施策の方向性》</p> <p>6次産業化を含め、宍粟材製品の流通拡大を支援し、宍粟材のさらなる普及促進を図ります。</p>
<p>《主な取組》</p> <p>①-1 「ひょうごの木」利用拡大協議会や宍粟材推進会議（プロジェクトチーム）の中で、川上から川中、川下の林業事業者や国・県等と連携し、市内での経済循環型林業を展開します。</p> <p>①-2 「ひょうごの木」利用拡大協議会や宍粟材推進会議等を通じ、6次産業化などにより市内事業者が積極的に宍粟材を活用できる仕組みづくりを行います。</p> <p>①-3 宍粟材の高付加価値化、流通拡大に向け、原木の段階での強度等の品質特性や</p>

加工技術を検証し、宍粟材の特性を生かした活用につなげます。 ①-4 県や近隣市町、連携中枢都市圏構成市町等との連携により、県産木材の需要拡大に向けて、県内林業における経済循環林業システムを推進します。
② 担い手の確保・育成（★）
<p>《施策の方向性》 将来にわたって適切な森林整備を続けるとともに、生業としての林業を継続していくため、林業従事者の確保と育成を図ります。</p> <p>《主な取組》 ②-1 林業就業相談会などの就業相談の実施や、林業就業者を新たに雇用し、その育成を図ろうとする林業事業体や新規事業体を支援することで担い手の確保と育成に努めます。 ②-2 新規事業体に対して林業機械等の導入を支援することで、市内の林業事業体数の増加と持続的な森林整備を推進します。 ②-3 森林大学校の学生が地域のことを知る機会づくりや学びを生かす仕組みづくりのほか、市内への定住につながる取組を展開します。 ②-4 インターンシップや県と連携した森林環境学習を通じて林業への関心を高めるとともに、郷土意識の醸成に努めます。</p>
③ 林業生産基盤の整備（★）
<p>《施策の方向性》 林業生産基盤の整備、充実を図り、植林・育林・伐採をサイクルとする循環型の持続可能な林業経営を支援します。</p> <p>《主な取組》 ③-1 森林経営計画の作成による森林施業の団地化・集約化を推進し、間伐の支援を行うとともに、条件不利地森林では森林環境譲与税を活用した市独自事業による支援を行います。 ③-2 木質バイオマス発電燃料としての林地残材や未利用材の利活用に向けた取組を推進します。 ③-3 森林施業を効率的に行うため、森林作業道、林業専用道、林業生産基盤整備道の整備を促進します。 ③-4 再造林や間伐等の森林整備を推進することで、健全な森林を育成します。</p>

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値 (H30)	目標値 (R7)
林業事業体数	組織	21	27
森林大学校卒業生の市内森林林業関係企業等への就職者数	人/年	3	6
人工林整備率（間伐事業）	%	30	43

■関連する個別計画

- ・林業再生プロジェクト基本構想
- ・宍粟市森林整備計画